

先端科学高等研究院 シンポジウムシリーズ

国際的課題「リスク」への対応を提言

横浜国立大学先端科学高等研究院は、「我々の未来の社会を変えていくリスク共生学の創生」をメインテーマに掲げ、4回のシンポジウムシリーズを開催します。

2016年3月3日（木）に全体シンポジウムを開催し、船舶・材料・建築の各分野におけるリスク共生学を題材とした公開シンポジウムを、それぞれ2016年2月17日（水）、3月10日（木）、3月26日（土）に開催します。

先端科学高等研究院（以下、高等研究院という）は、地球温暖化やエネルギー枯渇など地球規模のものから、地震・洪水・火山など大規模自然災害、地域・都市再生、人の健康などまで大小さまざまな局面において存在している「リスク」（人間活動に甚大な影響を及ぼす要因）への対応について、今回のシンポジウムシリーズを通じ提言します。

各シンポジウム案内・ポスターもご確認の上、ご取材等よろしくお願い申し上げます。
取材又は記事化の前に、以下問い合わせ先へ事前にご連絡よろしくお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

【代表・全体シンポジウム】

先端科学高等研究院 副高等研究院長・教授 藤江幸一

先端科学高等研究院 研究戦略企画マネージャー・講師 楠城一嘉

電 話 045-339-4454 E-mail: ias@ynu.ac.jp

【分野シンポジウム（1）】先端科学高等研究院 主任研究者

工学研究院 教授 荒井誠

電 話 045-339-4088 E-mail: m-arai@ynu.ac.jp

【分野シンポジウム（2）】先端科学高等研究院 共同研究者

リスク共生社会創造センター 准教授 澁谷忠弘

電 話 045-339-3597 E-mail: shibu@ynu.ac.jp

【分野シンポジウム（3）】先端科学高等研究院 主任研究者

都市イノベーション研究院 Y-GSA 校長・教授 北山恒

電 話 045-339-4071 E-mail: ygsa@ynu.ac.jp

○シンポジウム概要

・全体シンポジウム 『リスク共生学の創生』

日時：2016年3月3日（木） 13:00～17:30

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内（東京駅）

参加申込み：高等研究院からの招待者のみ

高等研究院長である長谷部勇一横浜国立大学長が本シンポジウムを主催し、特別講演および招待講演と共に、高等研究院の先進的な研究活動を紹介する。加えて、リスク共生学の創生と展開において、高等研究院が果たすべき役割についてパネル討論会を行う。

演者・パネリスト：戸谷一夫文部科学審議官、佐藤順一日本工学会会長、Michael Pecht 高等研究院連携教授（メリーランド大学教授）、藤野陽三高等研究院上席特別教授、安西祐一郎日本学術振興会理事長、泉紳一郎科学技術振興機構社会技術研究開発センター長、久村春芳日産自動車フェロー、馬来義弘神奈川科学技術アカデミー理事長、松本洋一郎理化学研究所理事、鈴木邦雄前横浜国立大学長（前高等研究院長）（プログラム順）

・分野シンポジウム（１） 『海洋工学と海洋人材育成』

日時：2016年2月17日（水） 10:00～17:00

会場：横浜国立大学 教育文化ホール 大集会室

参加申込み：不要（参加費不要）

高等研究院主任研究者である荒井誠教授が担当する本国際シンポジウムでは、現在国際的に問題になっている海洋の環境リスク評価や持続可能な海洋のあり方について最新の研究成果が報告される。さらにその課題解決ができる人材の育成といったより根源的な問題も議論する。中国、ブラジルといった船舶業界の発展著しい国々から著名研究者・実務者を招聘し基調講演がなされる予定である。

・分野シンポジウム（２）

『「機能限界加速試験による高品質設計技術コンソーシアム」発足記念シンポジウム』

日時：2016年3月10日（木） 14:00～17:00

会場：横浜国立大学 教育文化ホール 大会議室

参加申込み：高等研究院ウェブサイトから

製品の限界性能を調査し安全性・リスク評価をすることを可能にする高加速限界試験（HALT）を高等研究院は導入した。これは国内の大学として初めてであり、この試験機に対する国内関連企業からの需要は高い。技術者・研究者からなるコンソーシアムの発足を記念する本シンポジウムでは、この試験機を活用した「次なる時代の社会的価値」の探求が議論の焦点となる。

・分野シンポジウム（３）

『都市の「余白」が生み出す創造的なネットワークー - Space of Commoning から考える』

日時：2016 年 3 月 26 日（土） 14:00～19:30

会場：ヨコハマ創造都市センター（YCC） 3 階ホール

参加申込み：不要

Y-GSA「次世代居住都市」研究ユニットでは、高次社会リスクに対応した次世代の創造的な居住環境のあり方について研究している。2015 年度からは” Space of Commoning” という空間を社会資源とした、国家でも市場でもなく、人々の自発的な行為や創意工夫によって創造され運営・管理されている空間を考えるための概念とその実践方法の研究を、スイス連邦工科大学 (ETH) と共同で行っている。本シンポジウムでは、地域再生に向けて新しいアプローチで実践する、国内外の世界的な建築家を招聘し、イギリスと日本の具体的なプロジェクトを通じて、これからの居住環境を考える上で重要な鍵となる「自発的な地域マネジメントと都市空間のネットワーク化」を議論する。

○シンポジウム実施背景

21 世紀を迎えた現代社会は、高密度活動によって支えられている都市への人口集中が加速しており、人間活動に甚大な影響を及ぼす要因（リスク）は、地球温暖化やエネルギー枯渇など地球規模のものから、地震・洪水・火山など大規模自然災害、地域・都市再生、人の健康などまで大小さまざまな局面において存在している。このようなリスクを低減して安心・安全かつ持続可能でしなやかな強靱化した社会（リスク共生社会）を実現することは、人々の生命・財産、社会資産を守り、産業活動や都市機能を維持するうえで重要である。

特に、1995 年阪神淡路大震災、2011 年東日本大震災を経験した日本にとって、持続可能な社会や都市をどう構築できるか、またどのように国際的リーダーシップを発揮し海外へ情報発信できるかは、「現代」日本が取り組むべき重要な課題である。

このような社会の要請に応じた「実践的学術の国際拠点」としての機能を一層発展させるために、横浜国立大学は 2014 年 10 月 1 日、「先端科学高等研究院」を設置した。高等研究院は、本学の強みであり他大学では類を見ない『リスク共生学』の研究を中心に先端研究を実施することを重点目標に掲げている。

高等研究院が設置されてから 1 年半が経過したことを機会に、その設置の意義を社会に広く伝え、国内外との交流を促進するために「我々の未来の社会を変えていくリスク共生学の創生」をメインテーマに掲げ、シンポジウムシリーズを開催する。

【参考】先端科学高等研究院ウェブサイト：<http://ias.ynu.ac.jp>

横浜国立大学・先端科学高等研究院

IAS : INSTITUTE OF ADVANCED SCIENCES

スピーカー

佐藤順一

公益社団法人 日本工学会 会長
元(株)IHI検査計測社長

Michael Pecht

メリーランド大学 教授
先端科学高等研究院 連携教授

戸谷一夫

文部科学省 文部科学審議官

医療ICT研究ユニット
Medical Information
and Communication Technology

安西祐一郎

独立行政法人 日本学術振興会 理事長

藤野陽三

先端科学高等研究院 上席特別教授

コンビナート・
エネルギー安全
研究ユニット
Safety and Risk Management of
Process Industry & Energy Systems

次世代居住都市
研究ユニット
Next-Generation
Urban Habitats

長谷部勇一

先端科学高等研究院長
横浜国立大学長

超省エネルギープロセッサ
研究ユニット
Extremely Energy-Efficient
Processors

グローバル
経済社会のリスク
研究ユニット
Risks and Uncertainties
in the Economy

藤江幸一

先端科学高等研究院 教授
副高等研究院長

中南米開発政策
研究ユニット
Policy Development
in Latin America

社会インフラストラクチャの安全
研究ユニット
Safety and Resilience of Infrastructure
and Infrastructure Systems

泉 紳一郎

国立研究開発法人 科学技術振興機構
社会技術研究開発センター長

久村春芳

日産自動車株式会社 フェロー

馬来義弘

公益財団法人
神奈川科学技術アカデミー 理事長

松本洋一郎

国立研究開発法人 理化学研究所 理事

鈴木邦雄

前横浜国立大学長
前先端科学高等研究院長

情報・物理セキュリティ
研究ユニット
Information and Physical Security

海洋構造物の安全と
環境保全研究ユニット
Safety of Marine Structures
and Environmental Protection

水素エネルギー
変換化学研究ユニット
Chemistry of
Hydrogen Energy Conversion

森下 信

横浜国立大学 理事(研究・評価担当)
副学長

超高信頼性
自己治癒材料
研究ユニット
Self-Healing Materials

シンポジウム

リスク共生学の創生

2016.3.3 [木] 13:00-17:20 開場:12:30 トラストシティカンファレンス・丸の内 (東京駅)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館11階 <http://www.tcc-kaigishitsu.com/tcc-m/>

主催 | 横浜国立大学 先端科学高等研究院 お問合せ先 | 横浜国立大学 先端科学高等研究院事務局 TEL (045) 339-4454 Eメール: ias@ynu.ac.jp

IAS Institute of
Advanced
Sciences
Yokohama National University

<http://ias.ynu.ac.jp/>

横浜国立大学・先端科学高等研究院 | シンポジウム:「リスク共生学の創生」

IAS: INSTITUTE OF ADVANCED SCIENCES | SYMPOSIUM

横浜国立大学は2014年10月1日、科学技術の進歩と社会の要請に応じた「実践的学術の国際拠点」としての機能を一層発展させるために、リスク共生学の創生を掲げて「先端科学高等研究院(IAS: Institute of Advanced Sciences)」を設置しました。

リスク共生学とは、人間活動を取り巻く多様なリスクを解析・評価し、これらを的確に低減することによって安心・安全で持続可能な社会を実現するための技術、システムそしてそれらを社会実装するための手法を提供する学問分野です。本学の強みであり、他大学では類を見ないリスク共生学の研究を中心に、安心・安全で持続可能な社会を世界的に実現するための研究拠点の形成を重点目標に掲げております。

本シンポジウムでは、先端科学高等研究院が設置されて1年半が経過したことを機会に、特別講演および招待講演とともに、この分野における本学の先進的な研究活動を紹介させていただきます。加えて、リスク共生学の創生と展開において、先端科学高等研究院が果たすべき役割についてパネル討論会を行います。

プログラム

13:00	開会挨拶 長谷部 勇一 先端科学高等研究院長・横浜国立大学長
13:05	来賓挨拶 戸谷 一夫 文部科学省 文部科学審議官
13:10	高等研究院の概要について 藤江 幸一 先端科学高等研究院 教授・副高等研究院長
13:20	招待講演 1 佐藤 順一 公益社団法人 日本工学会 会長・元(株)IHI検査計測社長
13:50	招待講演 2 Michael Pecht メリーランド大学 教授・先端科学高等研究院 連携教授
14:20	研究講演 藤野 陽三 先端科学高等研究院 上席特別教授
14:50	先端科学高等研究院 研究紹介 研究ユニット主任研究者
15:20	研究紹介ポスターセッション およびコーヒープレイク
15:50	特別講演 安西 祐一郎 独立行政法人 日本学術振興会 理事長
16:20	パネル討論会 コーディネーター 長谷部 勇一 先端科学高等研究院長・横浜国立大学長 パネリスト 先端科学高等研究院 運営諮問会議 学外委員 泉 紳一郎 国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター長 久村 春芳 日産自動車株式会社 フェロー 馬来 義弘 公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー 理事長 松本 洋一郎 国立研究開発法人 理化学研究所 理事 鈴木 邦雄 前横浜国立大学長・前先端科学高等研究院長
17:20	閉会挨拶 森下 信 横浜国立大学理事(研究・評価担当)・副学長

講演者プロフィール (講演順、敬称略)

佐藤 順一
公益社団法人 日本工学会 会長・元(株)IHI検査計測社長
1976年東京大学大学院博士課程修了。同年石川島播磨重工業(株)入社、取締役常務執行役員技術開発本部長を経て2008年(株)IHI検査計測社長に就任。東北大学、ブレーメン大学、清華大学等の客員教授、(一社)日本燃焼学会会長、(一社)日本機械学会会長等を歴任。

Michael Pecht
メリーランド大学 教授
先端科学高等研究院 連携教授
ウイスコンシン大学Madison校修士課程修了(電気工学、機械工学)、同博士課程修了(機械工学、PhD)。1986年～メリーランド大学ライフサイクル工学先端研究センター(Center for Advanced Life Cycle Engineering)長。IEEE Fellow, ASME Fellow, SAE Fellow, IMAPS Fellow。

藤野 陽三
先端科学高等研究院 上席特別教授
1972年東京大学工学部土木工学科卒業。1976年ウォータール大学土木工学科博士課程修了(PhD)。同大学博士研究員、東京大学地震研究所助手、筑波大学構造工学系助手等を経て1990年東京大学工学部教授(土木工学科)。2005年同大学院工学系研究科教授(社会基盤学専攻)。2013年東京大学名誉教授。紫綬褒章、米国土木学会ジョージ・ウィンター賞、(公財)服部報公会報公賞など多数受賞。2014年より横浜国立大学先端科学高等研究院社会インフラストラクチャの安全研究ユニット主任研究者。

安西 祐一郎
独立行政法人 日本学術振興会 理事長
1969年慶應義塾大学工学部卒業。大学院工学研究科博士課程修了(工学博士)。慶応義塾大学専任講師、北海道大学文学部助教授等を経て1988年慶應義塾大学理工学部教授。1993年より同・理工学部長、大学院理工学研究科委員長を経て2001年学校法人慶應義塾理事長兼慶應義塾大学長。2011年より(独)日本学術振興会理事。日本私立大学連盟会長、中央教育審議会委員(大学分科会会長)、筑波大学・東北大学経営協議会委員など多数の要職を歴任。

先端科学高等研究院 11研究ユニットと主任研究者 プロフィール

社会インフラストラクチャの 安全研究ユニット

藤野陽三
上席特別教授

水素エネルギー 変換化学研究ユニット

光島 重徳 教授
1987年横浜国立大学工学部卒業。同

大学院博士課程前期修了後、(株)日立製作所入社。1998年横浜国立大学より博士(工学)。2000年横浜国立大学工学部助手、助教授、准教授を経て2011年より工学研究院教授。2014年より先端科学高等研究院・水素エネルギー変換化学研究ユニット主任研究者を兼務。

超省エネルギー プロセッサ研究ユニット

吉川 信行 教授
1984年横浜国立大学工学部卒業。1989年同大学院博士課程修了(工学博士)後、横浜国立大学工学部助手、講師、助教授を経て2004年より同工学研究院教授。(独)日本学術振興会第146委員会賞、(一社)末踏科学技術協会超伝導科学技術賞等を受賞。2014年より先端科学高等研究院・超省エネルギープロセッサ研究ユニット主任研究者を兼務。

医療ICT研究ユニット

河野 隆二 教授
1979年横浜国立大学工学部卒業。1984年東京大学大学院博士課程(工学博士)修了後、東洋大学専任講師を経て1988年横浜国立大学工学部助教授、1998年同教授、2001年同工学研究院教授。2007年よりフィンランド・オウル大学工学部教授を兼務。IEEE Information Theory Society 理事、IEEE & IEICEフェロー、IEICE業績賞、第1回ドコモ・モバイル・サイエンス賞優秀賞等を受賞。2014年より先端科学高等研究院・医療ICT研究ユニット主任研究者を兼務。

海洋構造物の安全と 環境保全研究ユニット

荒井 誠 教授
1975年東京大学工学部卒業。同大学院修士課程修了後、石川島播磨重工業(株)入社。1984年工学博士(東京大学)。1991年横浜国立大学工学部助教授を経て1998年同教授。2001年より工学研究院教授。船舶海洋学会副会長、日本船舶海洋工学会造船設計部会長などを歴任。2014年より先端科学高等研究院・海洋構造物の安全と環境保全研究ユニット主任研究者を兼務。

コンビナート・エネルギー 安全研究ユニット

三宅 淳巳 教授
1982年横浜国立大学工学部卒業。1984年同大学院修士課程修了後、本学工学部助手。講師、助教授を経て2006年より環境情報研究院教授。2014～2015年の間、安心・安全の科学研究教育センター長。2013年より(独)日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員を兼務。2014年より先端科学高等研究院・コンビナート・エネルギー安全研究ユニット主任研究者を兼務。

情報・物理セキュリティ 研究ユニット

松本 勉 教授

1981年横浜国立大学工学部卒業。1986年東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)後、横浜国立大学工学部専任講師、助教授、教授を経て2001年より環境情報研究院教授。2005～10年国際暗号学会IACR理事、2013年より(独)日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員を兼務。2010年文部科学大臣表彰・科学技術賞(研究部門)受賞。2014年より先端科学高等研究院・情報・物理セキュリティ研究ユニット主任研究者を兼務。

超高信頼性 自己治癒材料研究ユニット

中尾 航 准教授
1998年東京工業大学工学部卒業。2003年同大学院博士課程修了(博士(工学))。横浜国立大学工学研究院助手を経て 2011年より同准教授。International Conference on Self-healing Materials 2013, 2015 Organizing Committee等。(一社)末踏科学技術協会高木賞、文部科学大臣表彰(科学技術賞)等を受賞。2014年より先端科学高等研究院・自己治癒材料研究ユニット主任研究者を兼務。自己治癒材料を中心とした次世代の超高信頼性構造材料の開発を実施し、これらの材料系の国際標準となる評価手法の確立、自己治癒材料の適用に関するリスク評価を推進している。

次世代居住都市研究ユニット

北山 恒 教授
1976年横浜国立大学工学部卒業。1980年同大学院修士課程修了(工学修士)。1978年建築ユニット「ワークショップ」設立。1987年横浜国立大学専任講師、助教授を経て2001年同工学研究院教授。Yokohama Graduate School of Architecture (Y-GSA)教授。2001年architecture WORKSHOP設立主宰。2010年第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展・日本館コミッションなど歴任。2014年より先端科学高等研究院・次世代居住都市研究ユニット主任研究者を兼務。

グローバル経済社会の リスク研究ユニット

秋山 太郎 教授
1984年東京大学経済学研究科博士課程修了、86年横浜国立大学経済学部助教授、97年同教授、2013年横浜国立大学大学院・国際社会科学研究院教授、15年 横浜国立大学先端科学高等研究院 グローバル経済社会のリスク研究ユニット 主任研究者を兼務。

中南米開発政策研究ユニット

藤掛 洋子 教授
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了(修士(社会科学)、博士(学術))。国際協力事業団青年海外協力隊、東京家政学院大学大学院助教授等を経て、2012年より横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授。2014年より先端科学高等研究院・中南米開発政策研究ユニット主任研究者を兼務。

海洋工学と海洋人材育成

「海洋国家」日本にとって海洋の利用、開発、保全は極めて重要である。海洋工学はその基礎として必須の学問体系であり、また海洋産業の振興のためには海洋人材の育成が急務である。それらを背景に、横浜国立大学・先端科学高等研究院では、ブラジル・サンパウロ大学、中国・上海交通大学との間で海洋工学に関する3大学共同研究が進行中である。本シンポジウムは二部構成とし、前半では海洋開発や教育に関する幅広い議論を行い、後半では先端科学高等研究院で実施されてきた船舶海洋構造物の安全性、環境リスクに関する共同研究の成果報告を行う。

日時: 2016年2月17日(水) 10:00-17:00

場所: 横浜国立大学 教育文化ホール・大集会室

導入 (司会: 研究ユニット主任 荒井 誠 教授)

10:00-10:15 開会挨拶 横浜国立大学 学長(先端科学高等研究院長) 長谷部 勇一 教授

10:15-10:25 挨拶 横浜市 鈴木 伸哉 副市長

10:25-10:45 基調講演 内閣官房 総合海洋政策本部事務局 加藤 由起夫 事務局長 (日本の海洋政策の概要について)

第一部 海洋工学に関する人材育成 (司会: 研究ユニット副主任 日野 孝則 教授)

10:45-11:15 I-1 基調講演 日本財団 海洋開発人材育成推進室長 吉元 博文 博士(未来の海 パイオニア育成プロジェクト～海洋開発産業を支えるヒトづくり～)

11:15-11:35 I-2 サンパウロ大学 ニシモト・カズオ教授、アッシン・グスタボ教授(海洋工学教育に対するブラジルの挑戦と必要な変革)

11:35-11:55 I-3 上海交通大学 馬 寧 教授、王 徳禹 教授 (上海交通大学における海洋科学・海洋工学教育)

11:55-12:15 I-4 横浜国立大学 川村 恭己教授 (横浜国立大学における船舶海洋工学教育プログラムについて)

12:15-13:25 昼食休憩

第二部 共同研究の進捗状況と成果報告 (司会: 岡田 哲男 教授)

13:25-13:40 II-1 荒井誠教授 (船舶海洋工学分野におけるリスク共生 -研究ユニットの構成と研究紹介-)

13:40-14:05 II-2 基調講演 統合的海洋教育・研究センター 吉田公一 客員教授 (船舶及び海洋環境に関するリスクベースのIMO規則作成過程)

14:05-14:30 II-3 基調講演 日揮(株) 岸本 直彦 様 (海洋ガス生産分野での技術革新)

14:30-14:55 II-4 基調講演 ジャパンマリンユナイテッド 石黒 剛 様 (船舶推進性能に関する国際規則の現状と今後の展望)

14:55-15:20 休憩

船舶海洋構造物の安全性に関する研究成果 (司会: 馬 寧 教授)

15:20-15:35 II-5 研究発表 ニシモト教授(USP)、平川准教授(YNU) (連成を考慮したFLNGのオフローディング解析に関する実験的および数値的研究)

15:35-15:50 II-6 研究発表 Cheng, L. Y. 准教授(USP)、荒井誠教授(YNU) (FLNGおよびLNGシャトルタンカーの運動に与える動的スロッシング影響)

15:50-16:05 II-7 研究発表 王徳禹教授(SJTU)、川村恭己教授(YNU) (ねじり荷重を受けるボックスガーダーの残存最終強度)

環境リスクに関連する研究成果 (司会: ニシモト・カズオ 教授)

16:05-16:20 II-8 研究発表 村井基彦 准教授(YNU) (海洋再生可能エネルギーを利用する上での課題と展望-浮体からの視点-)

16:20-16:35 II-9 研究発表 馬寧教授(SJTU)、Liwei Yu 様(SJTU)、Shaoze Luo 様(SJTU)、平川嘉昭准教授(YNU)、高山武彦 特別研究員(YNU) (航海時EEDIの最適化およびコンテナ船の舵を利用したパラメトリックローリング防止)

16:35-16:50 II-10 研究発表 日野孝則 教授(YNU) (CFDによるコンテナ船まわりの流れシミュレーション)

16:50-17:00 閉会挨拶 先端科学高等研究院副院長 藤江 幸一 教授

17:30-19:30 レセプション(横浜国立大学第一食堂) 挨拶 横浜国立大学 副学長 森下 信 教授

【主催】 先端科学高等研究院 海洋構造物の安全と環境保全研究ユニット

【共催】 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター 【後援】 海洋都市横浜うみ協議会

【お申込み】 不要 【参加費】 不要

【お問い合わせ】 荒井 誠 Email: m-arai@ynu.ac.jp

横浜国立大学 先端科学高等研究院 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

先端科学高等研究院棟(建物番号 S7-4) 102 室、103 室(オフィス)

Phone: 045-339-4454 Fax: 045-339-4456 E-mail: ias@ynu.ac.jp

Facebook: 横浜国立大学先端科学高等研究院 Institute of Advanced Sciences Yokohama National University



「機能限界加速試験による高品質設計技術 コンソーシアム」発足記念シンポジウム

近年、欧米を中心に高加速限界試験（High Accelerated Limit Test、HALT）を用いた製品安全評価試験が注目されています。本装置は、6軸加振装置と温度急変装置を備え、製品の機能限界を抽出することが目的です。本学では、大学としては初めて HALT を導入し（写真）、統合的損傷センシングシステムの開発に取り組んでいます。この度、HALT の損傷メカニズムの解明などを目的として技術コンソーシアムを発足させました。ご興味のある皆様には是非ご参加いただけますと幸いです。

日 時：2016年3月10日(木) 14:00－17:00

場 所：横浜国立大学 教育文化ホール 大会議室

**主 催：横浜国立大学 先端科学高等研究院
同 リスク共生社会創造センター**

- 14:00～14:10 開会の挨拶
- 14:10～14:50 HALT の最前線
東陽テクニカ HALT センター
センター長 川上雅司
- 14:50～15:30 コンソーシアム構想について
横浜国立大学 澁谷忠弘
- 15:30～15:40 休憩
- 15:40～16:20 メンターグラフィックス社における
V-HALT の取り組み
- 16:20～17:00 HALT 装置見学会
- 17:00～17:15 会場移動
- 17:15～ 懇親会



懇親会 会費 2,000 円 | 定員 100 名

【お申込み方法】先端科学高等研究院ホームページよりお申込み下さい。 <http://ias.ynu.ac.jp/index.html>

【お問い合わせ先】横浜国立大学 先端科学高等研究院 <http://ias.ynu.ac.jp/index.html>

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

先端科学高等研究院棟（建物番号 S7-4）102 室、103 室（オフィス）

Phone: 045-339-4454 Fax: 045-339-4456 E-mail: ias@ynu.ac.jp Facebook: www.facebook.com/iasynu

